

琉球大学のコロナ禍の取組と学生の学びの変化

琉球大学工学部知能情報コース 岡崎威生

okazaki@ie.u-ryukyu.ac.jp



琉球大学

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

Topics

- 沖縄県および琉球大学の状況
 - 大学システム
 - 大学の取組み
 - 学生アンケート

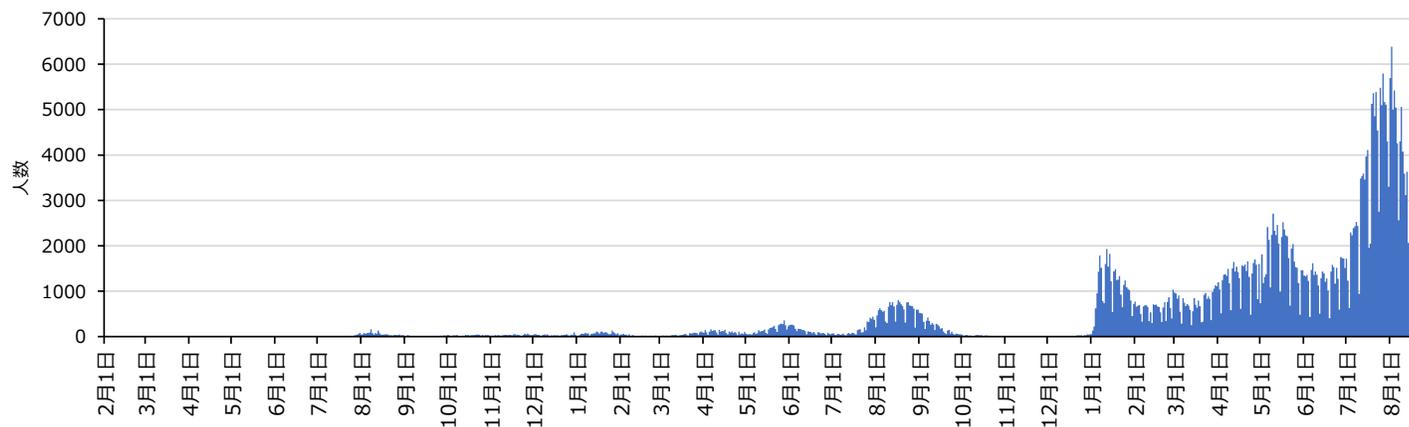
- 専門科目にみる学びの変化
 - レポート提出状況

沖縄県の状況

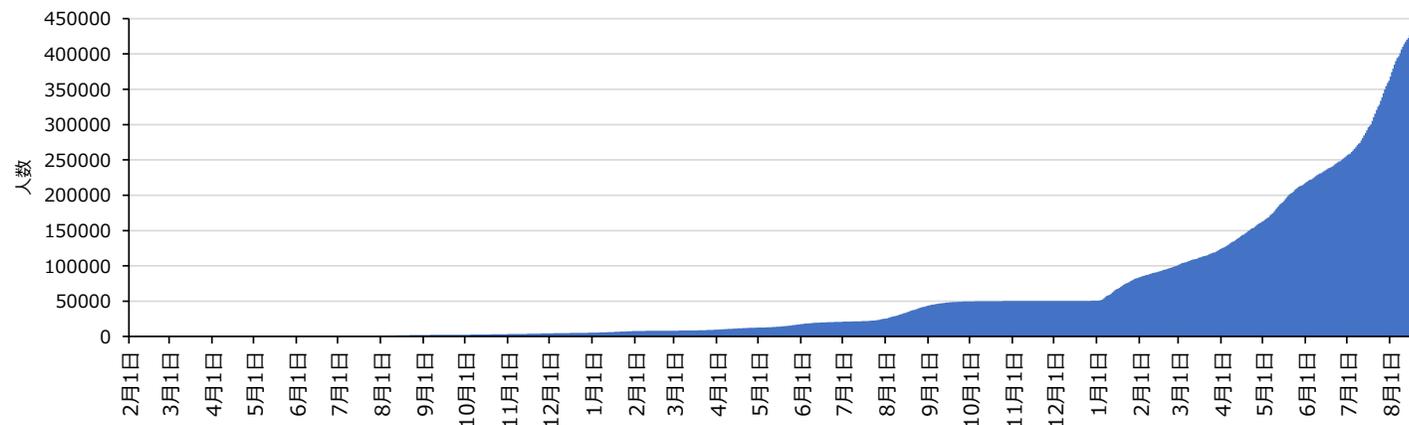
- COVID-19感染者数
43万人 / 147万人

- 公共交通機関
バス、モノレール（1路線）
自家用車による通勤・通学者割合が高い

確定日別 陽性者数 (n=426798)



累積陽性者数 (n=426798)



琉球大学の対応

- 2020年3月 4月からの授業実施対策
 - 授業方針（グローバル教育支援機構）
 - シラバス記述指導（授業実施や評価の方法）
- 2020年4月～
 - 授業方法FD（非常勤講師も対象に含めて）
 - 学びの継続を！
 - 手書き資料のスキャンでも、とにかく電子化して配信コンテンツに
 - ⇒ FD動画を公開
 - オンライン授業ガイド作成 ⇒ 改訂

文部科学省採択事業の効用

- 世界展開力強化事業（2018年～）
 - COIL（Collaborative Online International Learning）活用
 - 海外とのオンライン教育活動について各学部で説明会
 - Zoomの利用
 - JV-Campus 授業コンテンツ動画作成
 - 大学の国際化推進フォーラム（2021年～） ルーブリック
- 数理及びデータサイエンスに係る教育強化事業（2019年～）
 - 沖縄県内教育機関（高校も含む）向けオンライン教材開発と配信

琉球大学の教育関連システム

- 教務情報システム（学籍情報、シラバスなど授業情報、メッセージ）
- LMS Webclass（授業コンテンツ、レポート、試験など） ← 従来より全科目登録
⇒ Disk容量の強化
- Microsoft Teams ← これまでの活用実績少ない

複数システム利用の功罪

各システムの基本的な操作・利用法の動画ガイド作成

当初新生向け（従来の新生オリエンテーションの代替として）
在学生や教員への啓蒙効果

複数システム運用の影響

- 授業毎にオンライン実施方法が異なる（ZoomとTeams）
学生の戸惑い ⇨ 対応力の向上
- リスク分散
負荷増大によるシステム障害の回避
- 学生への通知方法
教務情報システム（シラバス変更とメッセージ）、LMS、Teams、メールなど
授業方法の変更、課題、相談などの周知が不十分
コミュニケーションツール統一は不可欠

大学の学習環境支援

- 学内無線LAN増強
- 授業に使っていない教室を開放
- ノートPC貸出
- WiFiルーター貸出（自宅ネットワーク環境が不十分な学生に）

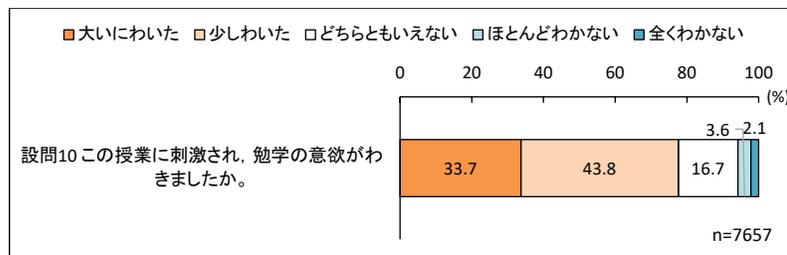
- 教員向け相談窓口一本化
相談メールアドレス
⇒ Teamsで関連部局担当者が共有し対応
- 非常勤講師用の配信ブース設置



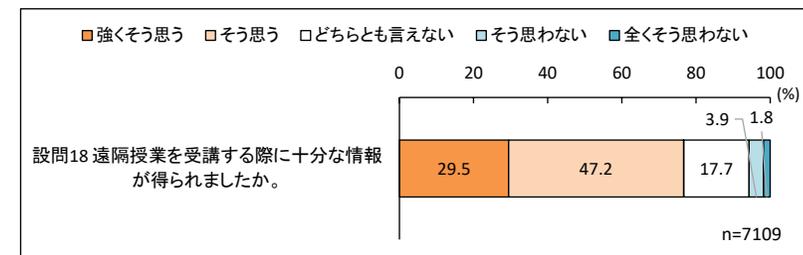
学生の状況

- 休学や留年は増えていない
- 2020年後期授業評価アンケート（共通教育）から

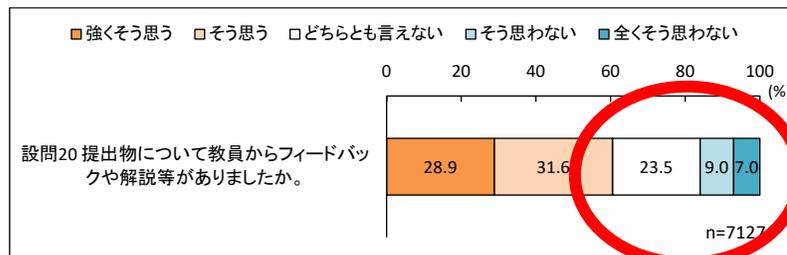
この授業に刺激され、勉学の意欲がわいたか？



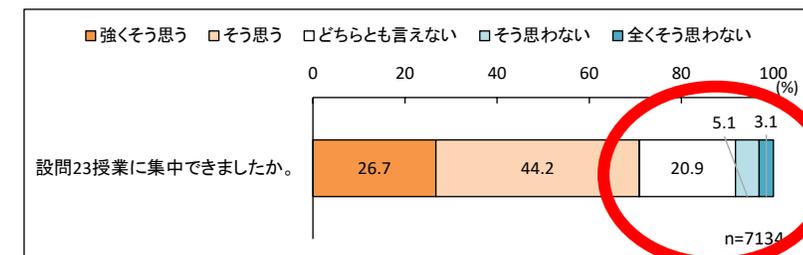
遠隔授業を受講する際に十分な情報が得られたか？



提出物について教員からフィードバックや解説等があったか？



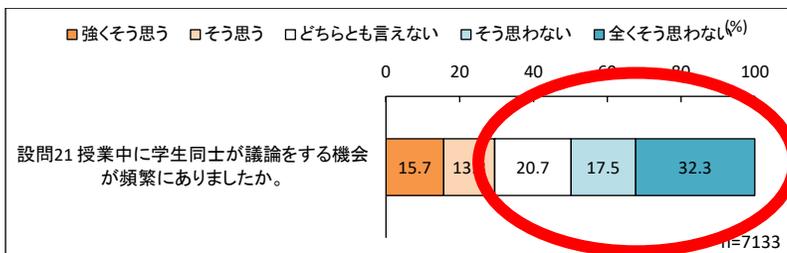
授業に集中できたか？



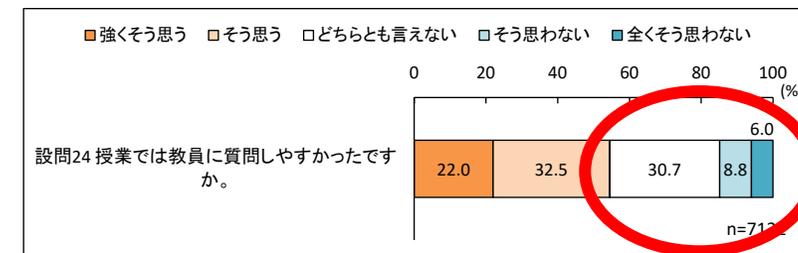
学生の状況

● 学びのインタラクション

授業中に学生同士が議論する機会が
頻繁にあったか？

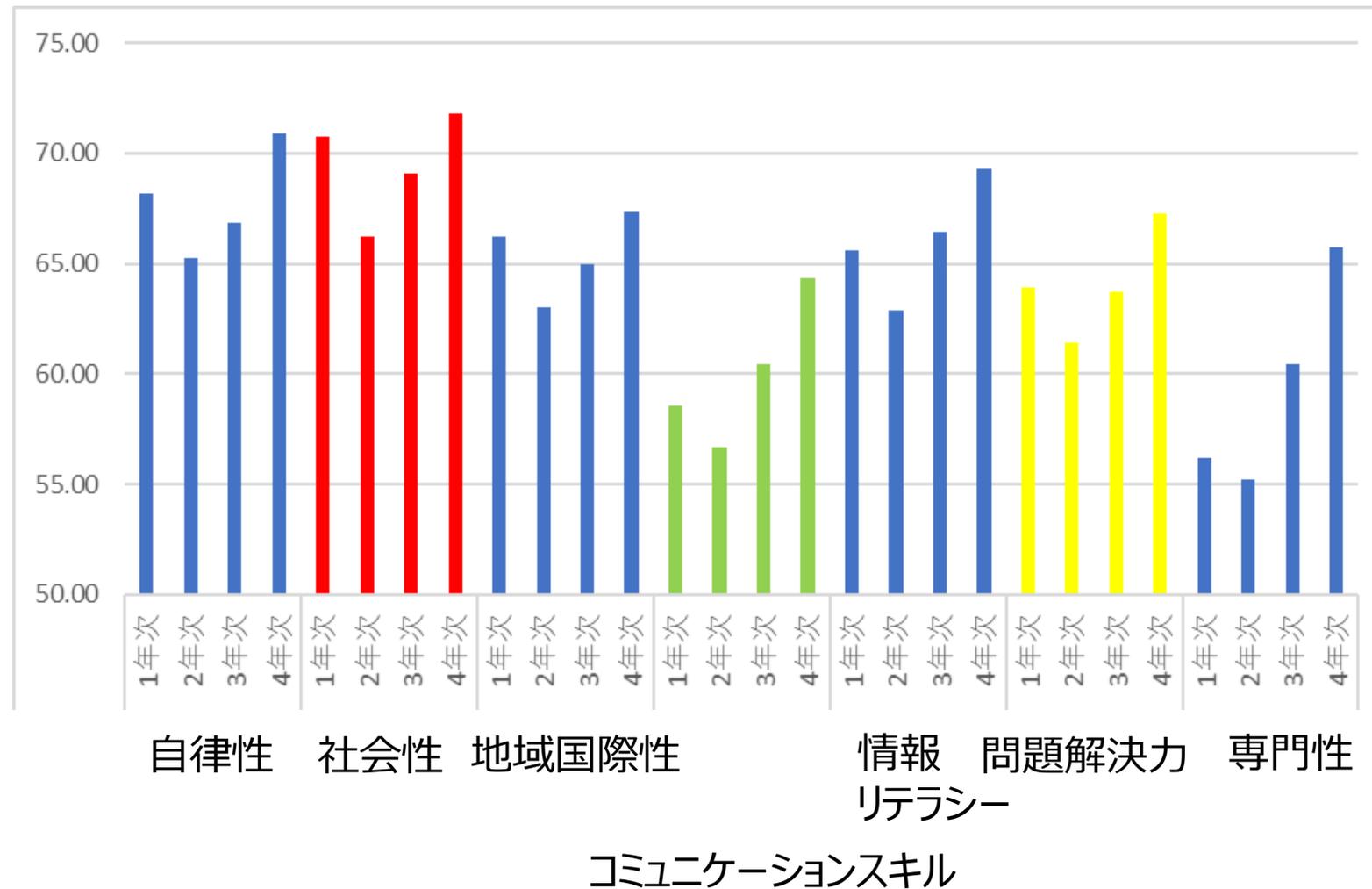


授業では教員に質問しやすかったか？



学生の状況

● 学生調査から



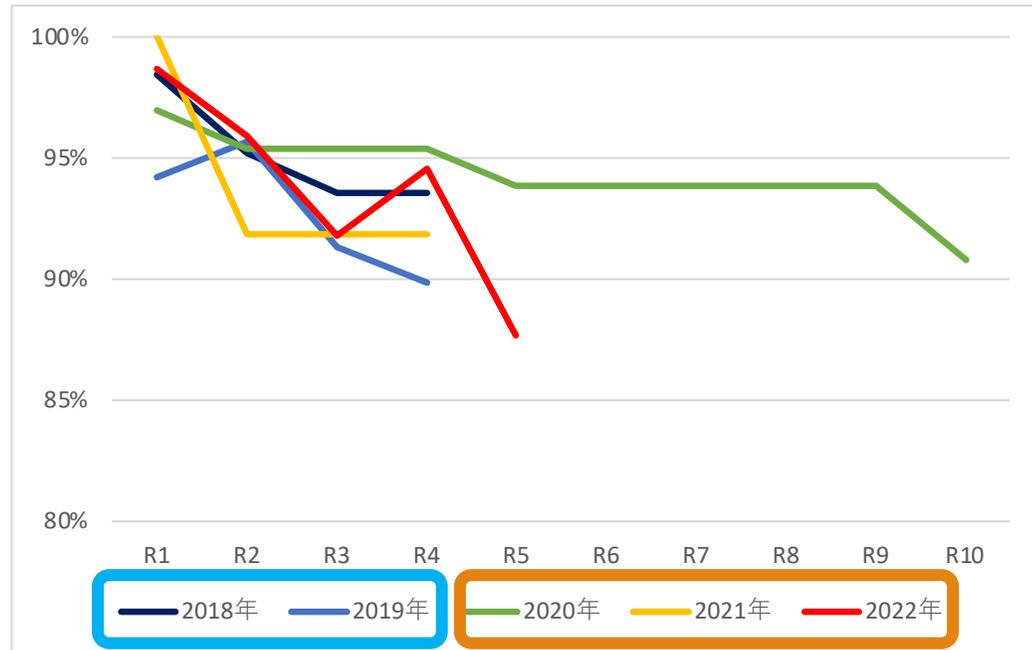
専門科目での考察

- 「データサイエンス基礎」 工学部知能情報コース2年必修科目 4単位
- 事象の本質を表現・評価し、データを解析できることを目的
- 授業方法 座学＋演習
- 評価方法 中間試験、期末試験、レポートの合計点
- 利用ツール LMS（授業資料の事前配布、レポート提出、採点結果通知）
授業を撮影し動画を提供（2020年以前から）

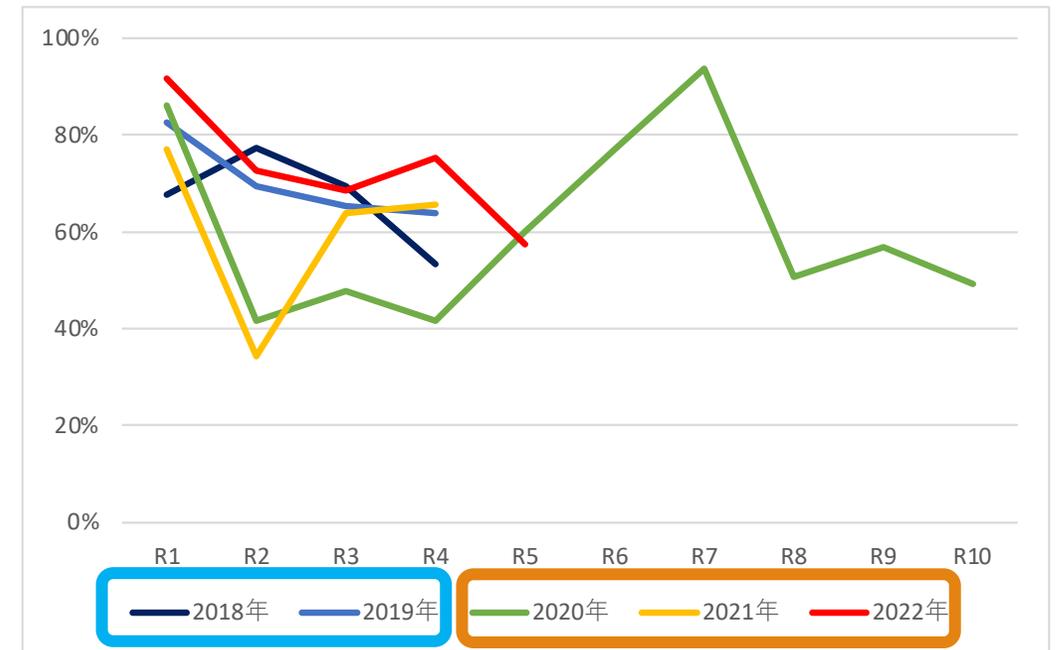
- 2020年からの対応
Zoomによるオンライン授業（受講者数が多いため対面不可） 試験は対面
30分ごとに休憩
レポートは再提出可 ← 解答例解説＋動画閲覧後に

レポート提出状況から見える学びの変化

各回レポート提出率（2018年～2022年）



各回レポート満点率（2018年～2022年）



年	2018	2019	2020	2021	2020
平均値	95.2%	92.8%	94.3%	93.9%	93.7%

年	2018	2019	2020	2021	2020
平均値	66.9%	70.3%	60.5%	60.2%	73.2%

これからへの考察

- 授業（オンライン）への集中力不足
今更ながら反転学習 ⇨ 何を教員から獲得するのか目的を付与
- 2023年から完全オンライン学生が卒業“研究”に
不安：学生間の情報共有や学びあいの喪失？

DiscordやMattermostなどのツールを利用してグループ活動できている？

オンライン（バーチャル）の中で解決する方法を考えるのか？
あるいは、限られた対面の機会では何かを仕込むのか？